

花の里づくりの会

第17号会報 2021年4月発行



第九回記念樹《平成26年3月植樹》

紫モクレン (撮影：小松賢吉氏)

科：モクレン科 属：モクレン属
和名：木蓮 紫木蓮 (シモクレン)
英名：Mulan magnolia 学名：Magnolia liliiflora (紫木蓮)
原産地：中国 開花期：4月～5月

モクレン(木蓮)は金寿(キンジュ)やシモクレン、ハクモクレンやマグノリアなど、様々な種類がある古くから愛されている花木です。一般的にモクレン(木蓮)というと、紫色の紫木蓮(シモクレン)を指すことが多いようです。花は、花の内側と外側の色が異なっています。内側は白い色をしています、外側は濃い紫色をしています。花の花びらは8枚あり、花が咲き始めると葉が出てきます。葉は花を隠してしまうくらい大きいです。

ごあいさつ

昨年度、会長を引き継ぎ、2年目となりましたが、今年度は前年度の冬から始まった新型コロナウイルス感染拡大により、本会の活動も大きく影響を受け続けた1年となりました。

総会は一堂に会して行うことができず、書面での開催となりました。植栽されている寺院や神社も、それぞれに行事などを縮小したり、様々な形式を変えたりしなければならない状態になっています。また、外出などの自粛もあり、社寺や公園などの植栽場所を訪れる方々も例年に比べれば大幅に減少しています。各学校におかれましても、休校や授業時間の変更、行事の変更中止など、教育活動に大きな影響が出た1年ではなかったかと思えます。残念なことではありますが、世界的なウイルス蔓延と健康安全面での社会の対応を考えれば、致し方ないことなのかと感じております。


しかし、一方で、花の里づくりの会の理事・役員会は、感染対策を施しながら何とか継続して開催してまいりました。また、新たな植栽についても、滞ることなく本年度もおこなうことができました。これも花の里づくりの会に関わる皆様方の熱意とご協力によるものと感謝いたします。

新型コロナウイルスについては、終息まで、まだもう少し時間がかかるのかもしれませんが、その意味では、来年度の活動も例年の様にはできないかもしれません。しかし、このように社会や地域に不安やストレスが広がっているときこそ、花を愛で、草木の美しさや自然に触れることが大切であり、それによって安らぎの心を取り戻して行くことができるのではないかと思います。

そのためにも花の里づくりの会では、本会の活動の意義をしっかりと意識しながら、地域社会の皆さんのために活動を進めていく所存です。今後とも宜しくお願い致します。


花の里づくりの会 会長 吉田厚雄






2020年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 オオデマリ
- ◆光明寺◆ ヒガンバナ赤 300 球
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ白 100 球・黄 300 球・ピンク 500 球、
秋海棠 赤5株・白5株、ミモザアカシヤ2本、椿1本
- ◆善教寺◆ ドウダンツツジ 20 株、クルメツツジ 10 株、酔芙蓉5本、
ヤマモミジ5本
- ◆蓮華寺◆ ニホンスイセン 50 球、ヒガンバナ 赤 50 球・黄 50 球、
シャクヤク 5 球、クリスマスローズ 10 株
- ◆専念寺◆ ヤマモミジ 10 本



2021年度の植栽及び事業計画

- ◆新羽丘陵公園◆ 花壇の植栽に補助
 - ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 2 本（樹種未定）
 - ◆光明寺◆ ヒガンバナ赤 200 株、ヤマユリ 15 球、キツネノカミソリ 200 球、
サフラン 200 球、フリージア黄 200 球、アマチャ 5 球
 - ◆西方寺◆ ヒガンバナ黄 200 球・白 100 球・ピンク 400 球、秋海棠赤 5 本・白 5 本、
ミモザアカシヤ 1 本、アザレア椿 1 本
 - ◆善教寺◆ ドウダンツツジ 10 株、クルメツツジ 10 株、ヤマモミジ 5 本、椿 5 本
 - ◆蓮華寺◆ 日本スイセン 40 株、シャクナゲ 3 株、シャクヤク 3 株、
チューリップ赤 40 球・白 40 球・黄 40 球
 - ◆新羽未来の会◆ インパチェンス 40 株、ペンタス 20 株
- 

善教寺

横浜市港北区新羽町2396番地
TEL (045) 531-5050



紅葉 11月



水仙 2月



ヒマワリ 7月



紅葉 4月



京都御所カラタチ



百日紅 7月

西方寺

横浜市港北区新羽町2586番地
TEL (045) 531-2370



ロウバイ (1~2月)



彼岸花 (白・黄) 9月



椿 3月



アヤメ 5月



アジサイ 6月



中目桜 3月



クリスマスローズ (3~4月)

光明寺

横浜市港北区新羽町3990番地

TEL (045) 591-0590



シャクヤク 5月



シャクヤク 5月



スイセン 2月



桜 4月



ツバキ 2月



ふきのとう 2月



ヤマユリ



梅 2月

蓮華寺

横浜市港北区新羽町3952番地



八重桜 4月



イチョウ 12月



アジサイ 6月



ツツジ 4月



サルズベリ 8月



雪柳 3月



桜 3月



クリスマスローズ 2月



ロウバイ 1月



スイセン 2月



シャクヤク 5月



モクレン 4月



紅梅 2月

専念寺

横浜市港北区新羽町1578番地
TEL (045) 531-1518



緋寒桜 2月



ハンカチの木 4月



パンジー 4月



ジャーマンアイリス 4月



ツツジ 5月



しだれ桜 3月

新羽丘陵公園での
卒業記念植樹

2組



初めての植樹

卒業記念として、おおまりの木を植えました。天野 美星

初めて花の木を植えた。白くさい谷花咲

の、貴重な体験でした。私は丘陵公園

くのを楽しみに待っていました。おは

ておにこ。こやばし、ホ、ルをすることかあ

るの、花が咲く五月と六月に家族や友達と

公園に行くと、花も見たいです。

私もあおまりの木のようになすこと成

長しまいたいです。

新羽丘陵公園での
卒業記念植樹

3

組



木と共に成長する私たち

飯島 陽菜

私は、初めて地域の方々と六年生のみんなと協力して植樹をしました。植えた木は思ったよりも小さくて、とてもおどろきました。少しずつ成長し、緑が増え、公園に来た人達が明るい気持ちになってくれるとうれしいです。私達はこれから大人になっていきます。中学、高校、大学卒業の節目などに、この木を思い出し、みんなそれぞれの方になって、がんばっていきなりたいな、と思います。



仲間を思う オオデマリ

新羽小学校長 三枝 秀明

令和2年度も6年生が花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会をはじめとした皆様のお力添えにより、記念植樹をさせていただくことに深く感謝いたします。

今年度の卒業生は、オオデマリを植えさせていただきました。オオデマリは漢字で「大手毬」と書かれたり、英名はジャパニーズ・スノーボール (Japanese Snowball) と言われたりする、初夏に白い球状の花を咲かせる樹木です。その球状の花は、小さな花の集合体です。これは一人ひとりの個性が集まってできる学級のように思えますし、青空の下で輝く花は、小学校でともに学び楽しかった思い出を象徴しているように思えます。

小学校で過ごした6年間は、とても貴重な時間です。しかし、諸行無常の言葉の通り常に変化していきます。自分たちが毎日通った学び舎さえ形を変える時が来るでしょう。6年間の貴重な時間は、一枚の卒業証書と一冊の卒業アルバム、そして一人ひとりがかかっている思い出のみとなってしまいます。

記念植樹は、6年間の貴重な時間を共有するものとなるはずです。初夏の青空の下で輝くオオデマリの花を見たときに、大きな花の中のひとつが自分であり、周りに多くの仲間がいたことを思い出されるでしょう。丘陵公園がそのような場所になってほしいです。

このような機会と場所を提供して下さったことに感謝いたします。今後ともオオデマリと共に卒業生の成長を見守ってくださることをお願いいたします。



新羽小学校PTA会長 望月 隆

新羽丘陵公園に今年で16回目を迎える新羽小学校卒業記念植樹が去る2月26日に花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、港北土木事務所職員、地域協力者の皆様にお集まりいただき行われました。

本年度は、オオデマリ（スイカズラ科、ガマズミ属、落葉低木）2本を花の里づくりの会より頂き、卒業生全員で協力して穴を掘り、植樹した樹に水をあげました。最後に手作りプレートを付けました。

オオデマリは初夏にボール状の花を咲かせる落葉低木です。花色は咲き始めはライムグリーンで徐々に白色に変化します。秋には紅葉を楽しむことのできる樹です。数年後には卒業生の人数分の白い花をつけると思います。卒業生の皆さんもオオデマリに負けない個性豊かな人生の花を咲かせてくれることを願っています。

花言葉には、「約束を守って」などがあります。卒業生の皆さんが十年後、二十年後、五十年後このオオデマリの下で再会することを約束し、「約束の樹」として生涯大切にしてほしいと思います。このような素敵な場所と記念植樹という貴重な経験をするお手伝いをいただきました花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、関係者の皆様には、PTAを代表して感謝申し上げます。

今後とも新羽の児童生徒ならびに植樹した32本の花木が大きく、たくましく成長する姿を暖かく見守り、暖かくご指導いただけたら幸いに存じます。誠にありがとうございました。



港北区長 栗田 るみ

新羽小学校卒業記念植樹の開催、おめでとうございます。

日頃から、新羽小学校をはじめ、花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、地域の皆様のご尽力により、魅力あるまちづくりに取り組んでいただき、本当にありがとうございます。

さて、新羽小学校を卒業される皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

また、学校生活の中で、あるいは家庭生活の中で新型コロナウイルス感染症拡大防止へ取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。

皆さんは、この新羽を舞台に、どんな6年間を過ごしてきたでしょうか。

楽しいことだけでなく、時には大変なことなど、様々なことを体験してきたのではないのでしょうか。

その思い出の中の一つとして、皆さんにとってこの新羽丘陵公園は、自然と触れ合う学びの場として、慣れ親しんだ公園であると思います。

新羽丘陵公園がこのように素敵な公園であり続けているのは、皆さんが通うこの新羽で、「花の里づくりの会」や「新羽丘陵公園愛護会」に代表されるような地域の皆様が、花と緑あふれる魅力的なまちづくりに取り組んできたおかげです。

地域の皆様のつながりによる活動のおかげで、新羽丘陵公園は人と人をつなぐ大きな役割を持った公園になりました。皆様にとっても、お友達とのつながりや学校の先生とのつながり、ご家族とのつながりなど、多くのつながりを作り育む場所として、これからもこの新羽丘陵公園に親しみを持っていただければ幸いです。

オオデマリは5月ごろに白いボール状の花が咲くと伺っております。

今日ここで皆さんが心を込めて植えた苗木が育つと同じように、新羽小学校を卒業される皆さんが、花と緑を愛する大人に成長することを心からお祈りして、私のメッセージとさせていただきます。

ご挨拶

顧問 西方寺 伊藤 仁海

「花の里づくりの会」の会員の皆様には毎年ご協力を頂き有難うございます。皆様からの会費によって植栽の苗や球根を植えることが出来ています。心から感謝申し上げます。

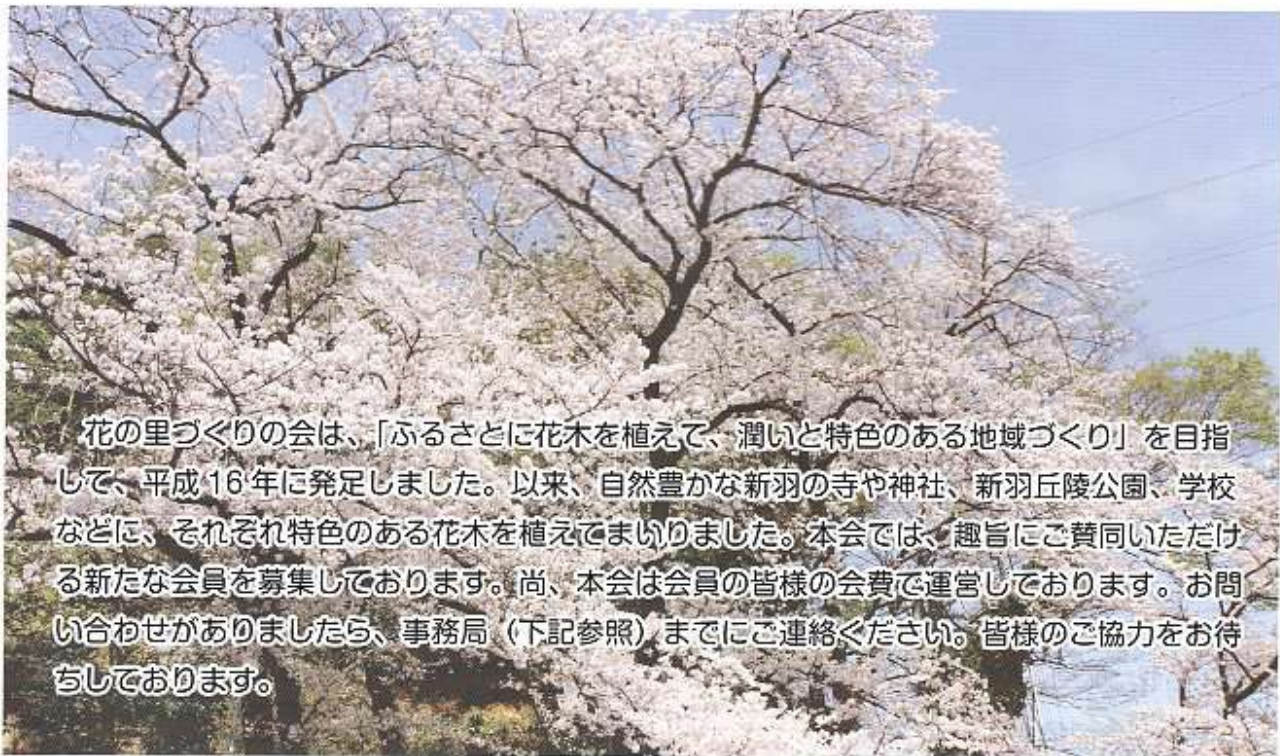
会の活動も地域の社寺への植栽から始まり小学校などへの活動も定着してきました。横浜でも新羽は、自然や昔の雰囲気が残っている町です。これらの活動を通してこの地域以外の方々がお越しになる機会になれば有り難いと思っています。

西方寺では、冬から春にかけて咲く椿やロウバイに始まり、春には中日桜や桃、レンギョウ、木蓮、クリスマスローズ、夏にはアヤメ、アザレア椿、秋には彼岸花が咲きます。最近では、駐車場の入り口にミモザの木を植え始めました。見事な花が咲くのが待ち遠しいです。

このところ感じることは、カメラを趣味とする方がとても多いこと、スマホなどで簡単に撮ることが出来るため年配の方から若い方まで幅が広く、多くの方が撮った写真をSNSに投稿することです。一見の価値があるものは、皆さんが広めて下さるのでたちまち短時間で広まるということです。それによる弊害ももちろんありますが、知ってもらえるチャンスはいくらでもあるということです。2年前から一夜限りの彼岸花のライトアップを始めましたがホームページとインスタグラム・ツイッター・Facebookのみのたった一週間前からの告知で境内がいっぱいになるほどの方にお越し頂きました。やり方次第で多くの方に新羽にきてもらうことも可能なのではないかと感じています。

これからも情報を発信していきたいと考えています。

今後ともご協力の程、お願い申し上げます。



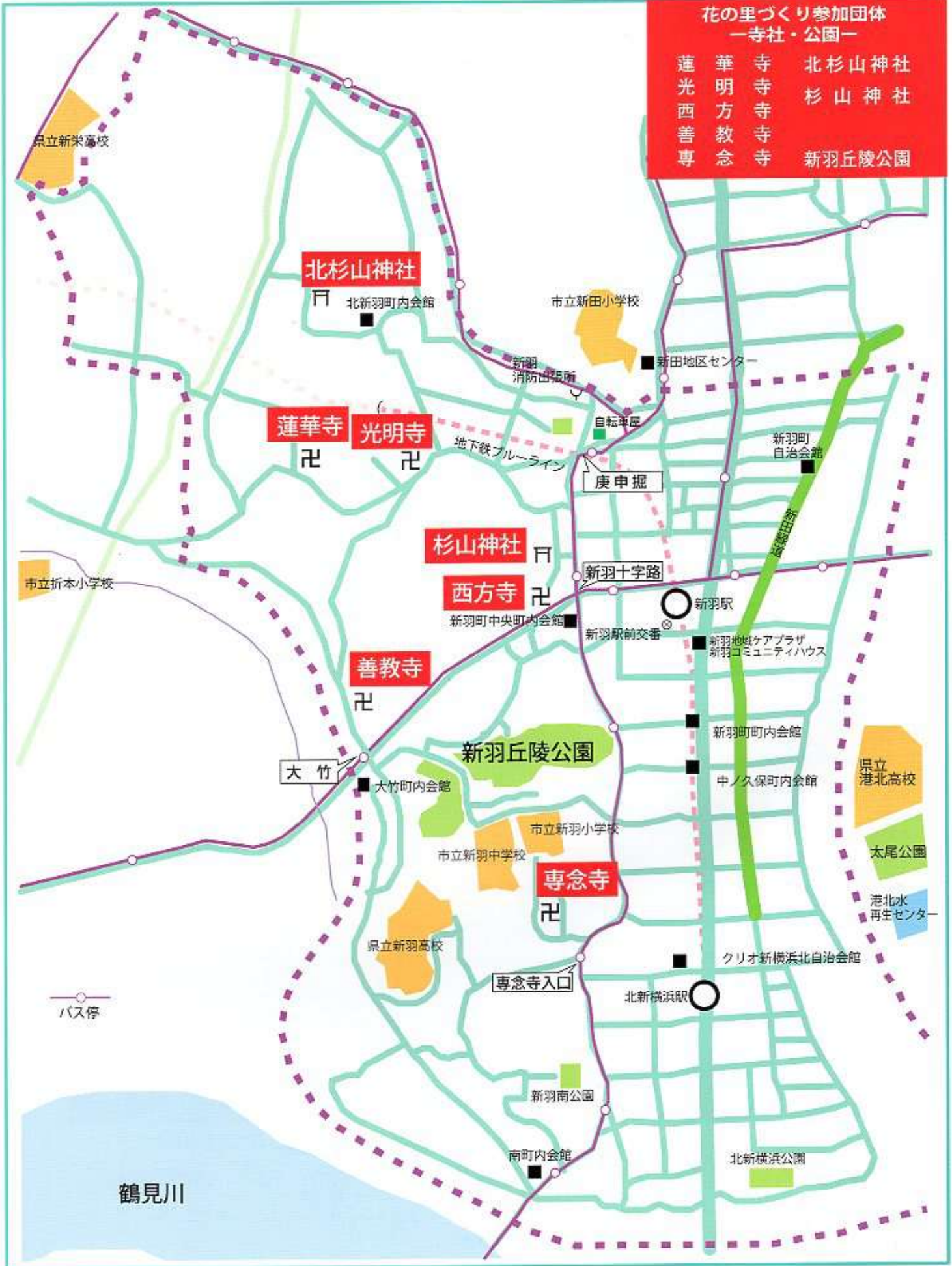
花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、本会は会員の皆様の会費で運営しております。お問い合わせがありましたら、事務局（下記参照）までにご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

花の里づくりの会 会報第17号 2021年4月発行
発行者/花の里づくりの会 会長 吉田 厚雄
お問合せ先/事務局 栗原 稔 TEL 045-591-1995
印刷/有限会社 田丸文林堂

花の里づくりの会 案内図

花の里づくり参加団体 —寺社・公園—

- | | | | |
|-------|-------|-----|--------|
| 蓮光西善専 | 華明方教念 | 寺寺寺 | 北杉山神社 |
| | | | 杉山神社 |
| | | | 新羽丘陵公園 |



バス停

鶴見川